



発行: 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人: 北 畑 仁 史 編集人: 河 村 正 之
住 所: 〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL (0857) 26-6605 FAX (0857) 26-6615
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: https://jtuc-tottori.jp

安心社会へ 果敢にアクション! ~広げよう「理解・共感・参加」の輪~ 新役員体制で2026年度スタート!! -「第33回定期大会」開催-



来賓あいさつ

【団結がんばろう!】

写真上段

左/主催者あいさつする山口一樹会長
中央/議長団(自治労・電力総連)
右/新役員を代表してあいさつする北畑仁史新会長

左から/富田珠代日本労働組合総連合会副事務局長・遠藤俊樹鳥取県政策統括監・山下禎博鳥取労働局長・興治英夫立憲民主党鳥取県総支部連合会代表・湯原俊二次期衆議院議員選挙連合鳥取推薦予定候補者・岩田浩岳国民民主党鳥取県総支部連合会幹事長

連合鳥取は、11月20日(木)、「第33回定期大会」をハワイアロハホールで開催し、一年間の活動総括と会計決算・監査報告、「連合鳥取規約・規則の一部改正」と「2026・2027年度運動方針と予算」「役員選挙」が承認され、新体制で2026年度がスタートしました。

冒頭、森由香里副会長の開会あいさつの後、議長に濱本早苗代議員(自治労)と本田優作代議員(電力総連)を選出し、議事を進めていただきました。

【山口会長あいさつ(抜粋)】

① 今年も日本全国で地震やゲリラ豪雨、猛暑などが発生し、いつ何時災害が起こるかわからない状況となっている。連合はその都度、労働運動の原点である「助け合い・支えあい」の精神で社会的な役割を果たしていく。

② 南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率が80%程度と予測されている。災害対策を普段からご家族や周囲の方と話し合ってほしい。

③ 人間は何故戦争をするのでしょうか。もしかしたら友達になれたかもしれない者同士が殺し合い、傷付け合うことはあってはならない。80年前の日本を絶対に再現してはならない。

④ 平和運動はとても重要な取り組みで、我々が平和な時にしかない。引き続き取り組んでいく。

⑤ 7月の第27回参議院議員選挙で衆議院に続いて参議院でも与党過半数割れが実現したが、鳥取・島根合区選挙区では勝利できなかった。後も続く政治活動を展開して

いくためには、普段からの組織強化が大事であることを我々もかみしめて取り組まなければならない。次の衆議院議員選挙では湯原俊二さんを再び国会に送る取り組みが必要である。

② 組織拡大の強化が最重要課題の一つである。労働組合があることが労働者にとつてメリットがあることを一人ひとりに伝えていかなければならないし、労働者が生きがいを持って楽しく働けるようその一役を担わなければならない。

③ 2025春闘はみなさんの努力により平均賃上げ方式加重平均で賃上げ額12,236円と過去最高額、賃上げ率は4.62%で昨年に次ぐ高水準となった。そしてこれを受けた最低賃金は1,030円、昨年より73円引上げで労働者全体の処遇改善にはつながったが、物価上昇により実質賃金は上がらず、私たちの生活がよくなったとは感じる事ができない。適正な取引により、価格転嫁が当たり前に実施され、消費者も理解できる環境整備に知恵を出し合いたい。

④ 今年6月に世界経済フォーラムが発表した日本のジェンダーギャップ指数は148カ国中118位と昨年同様に低位な結果となった。特に政治、経済この二つの分野の

ご協力ありがとうございました

フードライブ...

米・レトルト食品など23点が寄せられました



フォトニュースも
ご覧ください

改善が遅れている。男女平等参画社会、多様性を認め合うジェンダー平等社会を実現し、誰一人取り残されない社会を目指さなければならぬ。私たち労働組合の社会的責任である位置づけ、強いリーダーシップと強い決意のもと、着実に一步一步前進させるべく取り組んでいく。

⑦ 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、目的と政策を共有する政党および政治家との協力関係を重視し積極的に政治活動を進め、また、政策課題の実現にむけて鳥取県、鳥取労働局とも積極的に意見交換を行いながら、すべての労働者・生活者に直結する地方の課題解決に向け取り組んでいく。

⑧ 連合鳥取は今後も鳥取県の雇用労働者約23万人の働く仲間の代表として地域に対して影響力を持ち続けるとともに、職場や地域ですべての働く仲間と共に信頼され、必ずそばに存在となるべく運動を展開していく。

今大会をもって会長を退任するが、新しい体制で力を合わせて連合運動を盛り上げてもらいたい。共にがんばろう。

【来賓あいさつ】

・連合本部 富田珠代副事務局長
・鳥取県 遠藤俊樹政策統括監
・鳥取労働局 山下禎博局長
・立憲民主党鳥取県総支部連合会 興治英夫代表

湯原俊二副代表

(第51回衆議院議員選挙連合推薦候補者)
・国民民主党鳥根県総支部連合会 岩田浩岳幹事長

その他、友好団体、推薦議員団、福祉事業団体から多くのご来賓にご臨席いただきました。

【報告事項】

2025年度活動報告、決算・会計監査報告、剰余金処分案について執行部より報告があり、満場一致で確認されました。

【議案】

「第1号議案：規約・規則の一部改正」、「第2号議案：2026・2027年度運動方針」、「第3号議案：予算」、「第4号議案：役員選挙」について満場一致で承認されました。

※「第2号議案：2026・2027年度運動方針」については、連合鳥取ホームページでご確認ください。

【団結がんばろう！】

大会の最後に、北畑仁史新会長の「団結がんばろう」で締めくくられ、2026年度の活動がスタートしました。

【退任役員】—お世話になりました— (旧役職名で掲載)

山口一樹会長(自治労) 藤縄和彦副事務局長(自治労)
垣屋克吉執行委員(JAM) 山根佑一執行委員(自動車総連)
岩本裕己執行委員(全国農団労)
伊東利恵執行委員(女性代表/自治労)
山下詩織執行委員(女性代表/UAゼンセン)
福田奈々江執行委員(女性代表/全国農団労)
藤木真由会計監査(情報労連) 田中圭祐会計監査(全労金)

【2026年度役員】—よろしく願います—



東部地協発「2025政治学習会」で公職選挙法について学ぶ

東部地域協議会は11月12日(水)、「2025政治学習会」をとりぎん文化会館(鳥取市)で開催しました。昨年は、第50回衆議院議員選挙が行われたこともあり、2年ぶりの開催となりました。

今回は鳥取市民総合法律事務所の房安 強弁護士を講師に招き、「公職選挙法を学ぶ～労働組合が選挙活動で気を付けること～」と題して講演いただきました。学習会には単組の役員を中心に67人が参加し、公職選挙法について選挙運動と政治活動の違いや事前運動の禁止などわかりやすく解説していただき、改めて学習することができました。



私たちの政策を実現するためには、選挙運動や政治活動は重要な取り組みのひとつです。組織で推薦決定した候補者について組合員へ理解していただき周知を行う上で、今回学んだことを肝に銘じながら今後の選挙の取り組みに活かしていきたいと思います。



写真上／講師 房安弁護士

中部地協発「推薦議員との意見交換会」を開催

中部地域協議会は11月17日(月)、倉吉体育文化会館で連合鳥取推薦議員との意見交換会を開催しました。

当日は、推薦議員である福井康夫倉吉市議会議員、蓑原美百合北栄町議会議員の2人と地協役員12人が参加し、雇用・労働政策、交通政策、食料・農林業政策、教育、人権・平等政策、環境政策の6分野にわたる17項目について、活発な意見交換を行いました。

冒頭、盛山修議長代行は「現場の声を政策に反映させるために、推薦議員のみなさんと協力し合いながら、地域の課題解決に向けて連携を深めていきたい」とあいさつしました。

意見交換では、昨年に引き続き提起された課題を中心に具体的な要望が出され、福井議員、蓑原議員からは「早速12月議会で取り上げたい」との前向きな発言もありました。

今回の意見交換会では、県政に限らず市町行政や国政に対する働きかけの必要性が改めて確認され、日常生活上の課題や子どもの育成環境改善などについても意見が交わされました。参加者は引き続き情報を共有し、連携を深めながら、生活環境の改善に向けた取り組みを進めていくことを確認しました。



西部地協発

青女フォーラム ボウリング大会で交流

西部地域協議会青女フォーラム(青年女性委員会)は、11月8日(土)、YSPボウル(米子市)にて「第1回スポーツ交流会」を開催しました。

16人の参加があり、8チームに分かれてチーム対抗戦にて交流を深めました。

チーム対抗戦にあたり、チームのメンバーを幹事会で協議し、普段関わりのない産別を組み合わせでチームを構成しました。そのため、はじめは緊張感のあるスタートでしたが、交流を深めるうちに、最後は笑顔でプレーができました。

(寄稿 西部地域協議会青女フォーラム

事務長 岡本 湧生 さん)



大山ブナ林復元運動に参加

9月28日から11月8日まで計4回に分けて、2週間ごとに大山二ノ沢にてブナ林復元のための作業を行いました。まずは伯耆町ガーデンプレイス前にある畑から幼木を移植するための作業を行い、次にその畑から10kmほど移動して現場の二ノ沢での作業となりました。今年場所は平坦で作業も特に支障もなく行うことができました。



青年委員会発

ゲームとバーベキューで楽しく仲間づくり —「産別交流会」に32人参加—

青年委員会は11月1日(土)、森の国大山フィールドアスレチック(大山町)にて「産別交流会」を開催しました。前日まで雨予報でしたが、当日は曇り空ながらも過ごしやすい気候となり、自然に囲まれた中で快適に行うことができました。

普段なかなか接する機会の少ない他産別のみなさんとの交流を目的に、ミニゲームやバーベキューを実施しました。ミニゲームではグループに分かれて協力しながら楽しむことで自然と会話が生まれ、笑顔あふれる雰囲気となりました。バーベキューでは和気あいあいと食事を楽しみながら、お互いの職場の話や活動の取り組みなどについて意見交換を行い、横のつながりを感じる有意義な時間となりました。

今回の交流会を通じて、他産別との関係をより身近に感じるとともに、「仲間づくり」への意識が一層高まりました。今後も青年委員会では、各産別のみなさんに関心を持っていただけるような企画を進めてまいります。多くの方のご参加をお待ちしております。

(寄稿 青年委員会副委員長 廣政 大地さん)



ミニゲームを楽しんでいます!



バーベキューです!



立憲民主党・辻元清美「個人演説会」&野田佳彦代表「講演会」に参加

11月22日(土)、立憲民主党鳥取県総支部連合会の尾崎かおる鳥取県議会議員、勝田鮮二鳥取市議会議員の議会報告にあわせて、党本部より辻元清美参議院議員が駆けつけ「個人演説会」を行いました。

会場となった鳥取市「わらべ館」には約130人が集まり、辻元議員から現状の分析や背景など、なかなかマスコミが語らない内容を含め、多岐にわたる国政報告をしていただきました。



11月23日(日)、立憲民主党の野田佳彦代表による講演会がANAクラウンプラザホテルで開催されました。

この講演では、外交問題に端を発した現在の高市政権の危うさを強く訴えられていたのが印象的でした。そして、この度は「参加者の方々からの意見を聴いて、地方の実情をしっかりと認識していきたい」として講演は短い時間で終わり、質疑応答の時間が多く取られました。

そうしたことから西部地域協議会役員は、学校現場での先生の人員の少なさからくる児童・生徒への悪影響、また地方特有の問題として公共交通機関が減衰していくことへの懸念などを野田代表に訴えました。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

あなたのまわりで悩んでいる人に ご紹介ください

あなたの働き方は大丈夫? **STOP! 長時間労働**

**連合 全国一斉集中
労働相談ホットライン**

2025 年 12 月 9 日(火)～10 日(水) 10:00～19:00

☎ 0120-154-052 地域の連合につながります

労働相談ホットライン

☎ 0120-154-052

なんでも労働相談ホットラインは通年で受付しています。

連合鳥取 顧問弁護士 弁護士法人おおりり法律事務所から

Bonus
Information



長時間労働には様々な問題が潜んでいます。
まず、長時間労働による過労は労働者の心身を損ね、病気や自死につながるケースさえあります。

また、長時間の労働をさせれば、本来それに見合った賃金が支払われるべきですが、いわゆるサービス残業として、本来の労働時間を越えても賃金を支払わず、タダ働きさせるケースも未だに多くみられます。これは、本来は刑事犯罪として処罰されるべきものです。

また、使用者側に悪意はなくとも、昨今の人手不足のために長時間労働が慢性化してしまっているケースもありますが、長時間労働は職場全体の生産性の低下や離職率の上昇にもつながります。

そのため、自分の職場が抱えている問題を見つけるためにも、長時間労働に悩まれたらぜひ左記ホットラインを利用してください。

また、必要があれば当事務所への無料法律相談サービスもご利用ください。

無料法律相談は右記のとおり

法律に関する相談・悩み事は お気軽にご連絡ください

①産別・単組役員を通じて、連合鳥取に電話してください。

TEL/0857-26-6605

②窓口担当者が簡単な相談項目のみお聞きし、顧問弁護士の「おおりり法律事務所」と連絡を取ります。

③相談者本人が顧問弁護士と直接相談していただきます。

(電話・FAX・メール・面談のいずれか)
注意) 相談は無料ですが、ご希望により具体的な調査・書類作成などの業務を伴う場合は自己負担が発生する可能性があります。

“ザ・議員”

ひいらぎ

柊

やす ひろ

康弘

境港市議会議員

境港市は全国トップクラスの漁獲量を誇る「境漁港」があります。そこで水揚げされる水産物への感謝を込めて「カニ感謝祭」「マグロ感謝祭」「境港水産まつり」の3つの大きなイベントが開催されて県内外から多くのお客さんが訪れています。

先日開催された「水産まつり」ではスタッフとして参加するため、朝6時に会場に到着すると、すでに100人以上の行列ができていました。先頭の方に伺ったところ夜中2時から並んでいるそうでした。楽しみに境港市へ来てくださるみなさんに喜んでいただけるよう心を込めておもてなしをしたいと思います。

写真はマグロ感謝祭でバックヤードスタッフとしてボランティア参加した際に刺身を作っているところです。



マグロ感謝祭にて

さ わ だ

澤田

と よ あ き

豊秋

琴浦町議会議員

3期12年にわたり、連合鳥取のみなさんのお支えもいただきながら務めてきました。

この間、議員活動として、住民・各種団体等の声や現場の声聞き、町政に生かしていくことは当然のことですが、それに加えて心がけてきたのは、一般質問を年に一件でも、連合鳥取と市や町が抱える共通とする課題を取り上げ、連携して質問に結びつける取り組みをすることでした。

それが十分に行えたかと振り返ってみれば、余地はあったと、これまでの反省を含めて感じます。

現場の声を議会で取り上げる際には、関係者が直接議会を傍聴し、その内容をお互いに検証しあって次につなげていく相互の意思疎通が大事ではないかと思っています。また、県議会議員と市や町の議員との連携もさらに推進していくことも大切だと感じています(一例:フリースクールの補助金が県と町で実現した)。

日々の生活をより豊かに、安心したものとしていくためには政治の力が不可欠です。引き続き、組合員のみなさんの積極的なご参画、連携をお願いします。

取中部地協単組



中部地域協議会[第1]回単組代表者会議
(2025.2.18)で活動報告

機関紙「れんごう鳥取No.11(2025.11.1)」のなかで、長束博信南部町議会議員の記事を、誤ってご本人の執筆ではない文章を掲載してしまいました。【お詫び】深くお詫び申し上げますとともに、今後、このような確認不足による誤りが生じないよう確認を徹底してまいります。ホームページに修正した機関紙を掲載しています。



（とし
じめる）



わたしたちの職場では様々なところでAIを導入し、DX化が進んでいる。流通産業などではAIによる需要予測や発注などで業務に費やす時間も短縮され、顧客満足度を高めることも期待されている。DX化が推進される職場にあっても必要とされるのは、人が関わる仕事の「質の向上」といわれている。組合員の働き方を第一に考える労働組合は、益々その役割が重要になる。▼厚生労働省が毎年調査する「労働組合基礎調査結果」によると鳥取県の令和6年の推定組織率は13.2%で例年減少傾向にあり、組織率をあげるようさらなる奮起が求められる。▼仕事の質を高める上で、評価制度の運用や職場での安全配慮など組合員の声を経営に伝える労働組合の役割は、組合員にとっても、企業にとっても欠かせないものである。とあらためて感じる。

てんじんどうせ



再生紙を使用しています